

刻む会

たより

NO. 87

2022年12月20日

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会

共同代表

井上洋子・佐々木明美

事務局

宇部市常盤町一―一九(宇部緑橋教会内)

Tel 0836(21)8003

カンパ振込先

ゆうちょ銀行 □座番号 01590・7・32405

名義 長生炭鉱の「水非常」を歴史に刻む会

年会費

《正会員》個人3,000円 団体5,000円

《賛助会員》

個人1,000円 団体2,000円

ホームページ

<https://www.chouseitankou.com>

メール

chouseitankou@gmail.com

第3回国會議員訪問報告

共同代表 井上洋子

11月24日、これまで訪問した議員を中心に、衆議院議員6名、参議院議員6名計12名の事務所を訪問しました。予約なしの突撃訪問で、来年2月4日開催の81周年追悼集會案内文を直接手渡しで説明し、出席を依頼して回りました。

唯一面会の予約がとれた「沖縄の風」の高良鉄美議員は、沖縄戦の戦没者遺骨問題を含め、1時間も熱心に対応してくれました。長生炭鉱の追悼碑の写真を見ながら、「朝鮮人と日本人共に追悼していることはすごいことと、沖縄でもアメリカ人、朝鮮人含め、国籍を問わず戦争の犠牲者という考えで共に慰霊をしています。」と話されました。

高良鉄美議員は11月15日参議院「外務防衛委員会」で、韓国人戦没者遺骨のDNA鑑定について、「植民地時代に沖縄戦に動員さ

れ犠牲となった韓国人の遺骨を返還するためのDNA鑑定確認作業が進展していない。一日も早く遺骨を返還すべきで厚生労働省の積極的取り組みを示してほしい」と質問され、政府参考人からは「鑑定体制の強化に取り組むなど政府部内で適切な対応を検討していく」と回答がありました。

そのうえで、「日韓に横たわる不幸な過去清算を行うことは日韓関係の改善にも資すると思うので、外務大臣のこの問題解決に向けた決意を伺いたい」と質問、林芳正大臣は、「日本国内に所在する当時亡くなられた韓国の方々のご遺骨を早期に返還することが重要であると、韓国側と認識を共有しており、返還に向けて韓国政府との協議を粘り強く続けてまいります」と答弁されました。

高良議員は民間徴用者の遺骨問題も念頭に質問されたそう、林大臣の答弁を大事にして次につなげていきたい旨話されました。長生炭鉱犠牲者遺骨を含め、遺骨問題は植民地支配の結果であり、積極的に取り組みたい、必ず長生炭鉱現地に行きますと約束してく

れました。朝鮮半島の犠牲者の遺骨問題をこのように真摯に、そして真つ当に政府に対して追及してくださいと高良議員にお会いして、心から嬉しく、希望を持つことができました。一人でも多くの国会議員の方々に追悼集會に向いてもらえたら、遺骨発掘・返還に向けた大きな力になると確信します。3回にわたる国会議員訪問を終えて、一歩一歩小さな、しかし確かな手ごたえを感じることができました。



11月、韓国から複数の市民団体、合計約60人が長生追悼広場でのチェサ(祭祀)等を執り行い、フリールドワークに訪れた。今回は大人を始め小学生から大学生、が多く参加した。それぞれの団体名と感想を紹介する。

●十一月十二日

■「5・18民族統一学校」

「ウリ 民族同士統一の門を開く統一村」

* 5・18国立民族統一学校は、祖国の独立と再統一を目指す全国的な大衆組織。五・一八人民蜂起の精神継承事業、強制労働現場、朝鮮学校訪問する「平和統一歴史ツアー」プロジェクト等を実施。



刻む会たより No.87
 声を出す人がいること、
 そして「刻む会」の彼ら
 に会うことは私に大きな
 力と勇気を与えてくれま
 した。この力を失うこと

なく、私は歴史を正すための決意を胸に刻みま
 した。

(キム・ドンシク 大学生)



●十一月十八日

■「釜山トンポネット」

* 朝鮮半島の統一を願い、在日の民族教育、朝
 鮮高級学校無償化支援など、在日と共に歩む
 団体

静かな海の真ん中にそびえる二本の柱はとて
 も異質でした。海底炭鉱の下の労働者の呼吸する
 換気口として柱が存在していた事実を考えると、
 地獄を思い出します。恐怖と故郷への憧れ、海中
 で眠っている強制労働の犠牲者を花で称えた後、
 私はまず、犠牲者が太陽の光を見ることができ
 るように、多くの努力とキャンペーンを通じて歴史
 の認識を広めることにしました。

(イ・ミンヒ 22歳 女性)



差別の中を生き抜いて

ある在日二世の生き様に 寄り添って

先日、一人の在日の方から便箋10ページにもわたるお便りをいただきました。在日の皆さんの辛い経験を本音で聞くこの機会が少ない私たち日本人にとって、その経験、思いを共有することは大事なことと思いい、ご本人の承諾を得て一部割愛の上、掲載いたします。

(編集責任 共同代表 井上洋子)

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会として長年にわたり活動されていらつしやる皆様に心から敬意を表します。亡国の民として、“恨”を心に刻まれた在日朝鮮民族の一人として、長年にわたる皆様のご活動に対し、この感謝の気持ち一生忘れたいことはありません。

無念の死をとげながらも、歴史からフタをされたままの長生炭鉱朝鮮人犠牲者達にひとすじの光がさしこみ、その魂だけでも故郷に帰る、重いフタがあげられたような気がします。

この悲劇が世に知られ、そして歴史の真実を刻んだ立派な追悼碑の建立、犠牲者だけでなく遺族会を始め在日朝鮮人の心の奥に深く刻まれた思い、悲しみがたくさん報道され、日本全国に朝鮮半島までこの事実が伝わりました。

数年前、私ひとり床波の追悼碑に行きました。写真やビデオでは見ていましたが、直接自分の目

で見た瞬間、なぜか涙が止まりませんでした。犠牲者の気持ち、「刻む会」の皆さまの活動に対する感謝の意が、私の願いがあふれ出たのでしよう。「刻む会」の皆さま、本当にありがとうございます。無から始まりここまで来られた事、また朝鮮学校の運動にも協力してくださっていること、「刻む会」の皆さまの活動に頭が下がる思いです。心から感謝いたします。

この度井上様所有のDVD「宋富子氏講演」お借りしました。宋富子さんのお話、80才にして大変お元気で氣力に満ちた内容でした。宋富子さんのお話を聞いていると我が家の過去と重なる部分が多いようです。

父は慶尚南道、朝鮮南部で小作人として貧しいくらしをしていましたが、父は祖父に連れられて7才の時、福岡県飯塚の三菱炭鉱に募集で来たそうです。(日本の政策、朝鮮総督府が1910年に実施した土地調査令により地主が土地を没収されたので小作ができなくなりました)。日本語がわからず10才で小学校に入学し卒業し丁稚奉公にでた後、17才から祖父と一緒に炭鉱夫として働いたそうです。農作業しか知らない祖父は炭鉱夫がつかったようです。父も50キロもない体で炭鉱の仕事は大変だったと思います。それでも終戦時まで日本人「産業戦士」と呼ばれながらも頑張ったようです。

父18才、母17才(16才の時渡日)で結婚の翌年長男が生まれ、2男1女(私の兄と姉)を連れ、戦後家族全員帰国しましたが、故郷には生きるすべがなく、父と叔父は又日本にもどり、米が食えるという佐賀県の山間部にほったて小屋を建て

住み、朝鮮に残っていた母は5才・2才・0才の子供を連れ、私はまだ生まれていませんでしたが、黄色くなったキュウリ4、5本と味噌だけを持って、小さな漁船で4日かけ日本に戻ったそうです。

その後の生活は、宋さんとほとんど同じでした。狭い土地に朝鮮人4軒が住みました。500m近くまで電気がきていましたが、私たちの集落にはつないでくれませんでした。電気がなく、水道、井戸がなかったので400mぐらいの山道を登り、沢の水を汲んで来て生活用水として使いました。女性と中学生、小学校高学年の子供たちは、毎日の水くみが大変だったそうです。もちろん風呂なんかはありません。途中に県道があったので水源から水を引くことができませんでした。当時は田舎の方が朝鮮人に対する差別・偏見はひどかったと思います。朝鮮には「言った口は4日で忘れ、聞いた耳は千年忘れない」という諺があります。父は飯塚の炭鉱長屋に住んでいるとき、人からもらってきた牛ホルモンを共同水道で洗っていた時、炭鉱の事務職員から「朝鮮人はけだものか、こんなものまで食うのか」とバケツを蹴飛ばしたそうです。父は一生忘れなかつたと言っていました。数10年後、父は偶然ある焼き肉店でホルモン焼きをおいしそうに食べていたその男にばったり出会い、「一言「うまいか、おまえもけだものか!」と言ったら、何度も何度も誤ったそうです。

日本の学校に通っていた私も朝鮮という言葉が、いやでいやでこわい言葉でした。世界にはたくさんあるのに、よりによって私を朝鮮人に産んだ親をうらみ、特に日本語ができなく朝鮮なまりのひどい、片言の日本語を使い、時々チマ

チヨゴリを着て、キムチを漬ける母、一番大好きなのに一歩外に出ると大嫌いでした。体は朝鮮ですが、外では日本人という鑑兜で身を隠していました。小学校高学年、中学生に成るにつれ、それはますますひどくなり、日本人以上に私は朝鮮というすべてのものが嫌いで、こわく、凍り付くようでした。

小学校5年生の時、山間部から町に引っ越ししました。周辺に朝鮮人は住んでいません。それでも友達もできましたが、彼らが私の家に遊びに来た時、朝鮮人というのがバレないか、母が朝鮮語を使いやすいか、いつもビクビク、皆知っていたのに、です。

その友達の家には20才前後のお手伝いの女性住み込みで働いていましたが、夜、仕事が終わると私の家にいつも遊びに来て、母といつも話をしながらキムチも食べ、朝鮮料理をおいしそうに食べていました。もちろん我が家が朝鮮人である事は当然知っていました。我が家が恋しかったのでしよう、奉公先の家では遊ばず、我が家にしよつちゅう来ていましたが、ある日、その家の友達が我が家で遊んでいる時、そのお手伝いさんが迎えに来て、その子の服が汚れているのを見るや否や「まあ、汚い、朝鮮人みたいに！」と私の家族全員の前で言った。その瞬間母は怒り「あんた、今なんて言ったか」「朝鮮は皆汚いのか！」と言ったとたん、その女性は我に返ったのか、はっとして、「えっ、すみません」と言っ逃げ帰りました。両親は怒りましたが、私は怒りではなくただ心が凍りついただけでした。

我が家のすべてを知り尽くし、自分の実家のようにいつも遊びに来ていた心やさしくおとなしい人でしたが、日本社会にはびこる朝鮮人偏見の風潮が知らず知らずの間に体に染みついていたのでしよう。この一言は74年が過ぎた今も私の心の片隅に残り忘れる事ができません。

もう行き場が無くなった私は、中学生の時うわさで聞いていた福岡県八幡にあった朝鮮学校に行ってみようか、なんでも語れる、朝鮮人を隠すこともない、そんな友がほしくて、すでに入学していた日本の高校には二日だけ顔を出し、やはりなじめなかったのでやめて、2か月しか年の差がない同学年のいとこのお姉さんに「一緒に行かないか」と誘い、二人で勇気を出して九州朝鮮高校に入学しました。日本の中学を卒業して同じような気持ちを持った40名のクラスに入りました。

1年間勉強して私は初めて生き返ったようで、朝鮮人としての自覚が持てました。目の前がパツと明るくなり、苦悩のトンネルから抜けだしたようでした。そして初めて日本人に化けるための鑑兜を脱ぎ捨てることができました。

高1の終わりの春休みに家に帰り、「外で朝鮮語も日本語もしゃべるな、運動会にも来るな、ニンク、とうがらしの入った弁当は作るな」と、とんでもない事を言ってきた母の前に正座し何度も謝りました。母は一言、「お前が朝鮮人として自覚と誇りをもってくれたのが一番うれしい、産んでよかった」。父も母からその話を聞きすごく喜んだそうです。

今だからこそ、民族教育が必要です。もう在日一世から3世、4世、5世の時代、民族性も薄れ、

朝鮮、韓国から逃れよう

と帰化がますます増え、

同化され、1960〜70年代、在日

コリアンの数が70万人から2020年には45万人まで減りました。もちろん少子化も現実ですが、私の過去のような在日朝鮮人が自覚できるような機会がなく、「極悪非道の国、北朝鮮」「嫌韓」がマスコミで大々的に報道される今、偏見は高齢者から次の世代、小学生に至るまで「引き継がれています」。

1980年代、小学校の良心的な先生方が、自分のクラスのなぜこんなに多くの朝鮮・韓国人、帰化人がいるのか(70%)がわからなく、朝鮮学校の校長先生を招き、その理由と歴史を聞き始めて理解できたようです。学校の教師ですら朝鮮、中国と日本近代史がわからないのです。江戸末期、明治、昭和の歪曲された歴史しか教えなかったのでしょうか。だから過去も現在も朝鮮半島に対する嫌悪感が無くならないのかもしれない。

戦後ヨーロッパではドイツ、イタリア各国は歴史教育が正されましたが、日本では近代史修正も財閥解体も土地改革もされませんでした。もちろん、GHQの政策でしたが、「脱亜入欧」から抜け出せてないように思われます。

最近、日本では「韓国に何回謝罪したらすむのか、いつまで植民地時代の事をむしかえすのか、1965年の日韓条約ですべて終ってるじゃないや



いか！」と。植民地時代をむしかえしているのは韓国ではないのです。

日本のトップに立つ政治家が「強制連行」「慰安婦」そんな事実はなかった、その女性たちは「娼婦だった」「徴用工問題は解決済みだ」と日本の国会の場で法務省法制局長、内閣法制局長が「日韓条約は政府、国と国の約束であって、個人の問題は別問題であります」と二度も証言しています。総理、副総理がそんな発言をし、過去の事案をひっくり返し、なかったものと言ったのがきつかけで問題が起こったのが真実でしょう。麻生さんは「朝鮮人の日本名への改名「創氏改名」は朝鮮人が要求したからやってあげた」と言いました。まったく呆れます。

ちなみに、日韓条約には非公開の内容があり当時の韓国軍事情権と日本政府との密約として、日本国内朝鮮学校を無くす事が書かれています。そのため、1965年から15年以上にわたってそれを実行するためのいわゆる朝鮮学校つぶしの「外国人学校法案」なるものが国会に7回も提出されました。在日と日本の民主的な皆さまの強力な運動ですべて廃案になりました。1948年の朝鮮学校閉鎖令の第2弾でしたが、今第3弾が進行中です。

「母が記憶し、父が記録し、子が教訓とする」歴史を教えるという事は、過去のまちがいを非難するのではなく、まちがいを二度と起こさない教訓を得る事が目的だと思えます。教訓を得ないとまたまちがいを起こすと思えます。日本政府はまちがった過去から教訓を生かすというより、無かったことにしたいのでしょうか。

若い世代のために「自虐史観」を無くすと言いますが、私の永住者証明書には国籍に「国籍・地域」朝鮮」と記入されています。祖父母は朝鮮から突然日本人に、戦後無国籍人、帰国後韓国。父母は生まれた時から「二等日本人」に、戦後は無国籍人です。

父は7人兄弟の長男でしたが韓国で亡くなった祖父母の葬式に行けず、4〜5日間部屋に一人閉じこもり、食事もせず涙を流していました。行けなかったのではなく、日本政府の出国許可が出なかったのです。1948年から70年まで在日ほかこの鳥でした。また、1975年まで「朝鮮籍」ということで、韓国政府の入国許可が出ませんでした。それ以降は保守政権が民主政権により、行けたり行けなかったり。故郷は慶尚南道です。

父は晩年に私たちに向かって「日本政府が心から過去を南北朝鮮に謝罪し、南北朝鮮が統一するまで、外国人登録証明の国籍欄の「朝鮮」という「地域名」「記号」を変えるな！歴史の証人として残れ！」と遺言のように言い残し、84才の生涯を閉じました。「恨」から解放たれてなかったのでしょうか。「刻む会」の会員に復活したいと思います。よろしく願います。



活動日誌(前回たより以降) 太字は記事場

- 10/1(土) 『たよりNo.86』発送作業
- 10/14(金) 第6回運営委員会
- 10/12(水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに
対する抗議座り込み行動及び座談会参加
(山口市)
- 10/22(土) 山口朝鮮初中級学校公開授業(下関市)
- 10/23〜24(日〜月) 韓国KBS取材
- 11/5(土) 宋富子講演会ツアー2022宇部集会
- 11/8(火) NPO法人化についての学習会
宋富子さんFW
- 11/9(水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに
対する抗議座り込み行動及び座談会参加
(山口市)
- 11/12(土) 光州5.18民族統一学校FW
- 11/14(月) 金哲秀さんによる遺骨問題内部学習会(Web)
- 11/18(金) 第7回運営委員会
- 11/21(月) 釜山トンポネットFW
- 11/23(水・休) NPO法人ひかりFW
- 11/24(木) 第3回国会議員訪問(東京都)
- 11/28(月) 真相究明ネットワーク事務局会議Web
- 11/29(火) 韓国・観音宗追悼集会
- 12/14(水) 山口朝鮮初中級学校補助金力ツトに
対する抗議座り込み行動及び参加(山口市)
- 12/20(火) 第8回運営委員会

会計報告（2022/9/1～2022/11/30）

【一般会計】

（円）

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳入					
1	会費	600,000	44,000	475,000	79.2%	
2	寄付金	925,000	158,483	322,983	34.9%	※
3	物販	30,000	500	3,600	12.0%	
	証言・資料集	25,000	500	1,900	7.6%	
	その他	5,000	0	1,700	34.0%	
4	雑収入	4,000	3,740	3,740	93.5%	電柱設置料
5	前期繰越金	127,138	0	127,138	100.0%	
6	特別会計より繰入	0	0	0		
	合計	1,686,138	206,723	932,461	55.3%	

	科目	年度予算	期間実績	累計	達成率	備考
	歳出					
1	事務費	40,000	5,653	19,831	49.6%	
2	広報費	425,000	70,330	153,700	36.2%	会報誌送料・印刷他
3	会議費	66,000	19,430	19,430	29.4%	交通費補助
4	追悼碑管理費	10,000	1,305	7,817	78.2%	電気代
5	活動費	900,000	55,640	158,971	17.7%	
	学習会等	100,000	30,000	31,095	31.1%	宋富子講演会ツアー
	追悼集会	600,000	0	0	0.0%	
	その他活動	200,000	25,640	127,876	63.9%	京都派遣
6	他団体会費等	50,000	3,000	8,000	16.0%	宇部ネットワーク
7	雑支出	20,000	621	2,155	10.8%	
	手数料	10,000	456	1,990	19.9%	郵便局
	その他	10,000	165	165	1.7%	
8	予備費	75,138				
	小計	1,586,138	155,979	369,904	23.3%	
9	繰越金	100,000	50,744	562,557	562.6%	
	合計	1,686,138	206,723	932,461	55.3%	

※寄付者（敬称略）

市川真美恵 上西 創造 内田 功 大井 典子 岡屋 義之 鎌田 清 姜 銀 瓊
 杵淵 智子 小暮 房子 関谷 陽子 徐 根 植 宋 富子 田中 博典 都 相太
 林 修二 堀江 節子 真鍋 祐子 三浦 翠 山県 順子 羅 愛 順 利元 克己
 愛知人権啓発企業連絡会 その他匿名 8 件

【追悼碑特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,218,889				
			繰越金	1,218,889	
合計	1,218,889		合計	1,218,889	

【遺骨収集等特別会計】

収入			支出		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
繰越金	1,577,040				
繰入金	0		繰越金	1,577,040	
合計	1,577,040		合計	1,577,040	

以上感謝をもってご報告いたします。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

BIYPの活動 報告と予定 2022.12
BUCHEON IKKI-IKKI-ASIA YOUTH EXCHANGE PROGRAM (SINCE 2013)

宋富子さん講演会ツアー

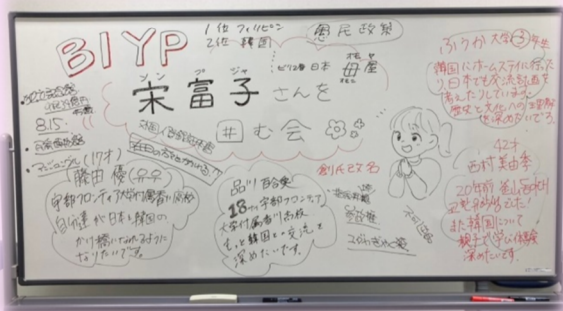
11月5日(土) 13:30~15:30 宇部緑橋教会
 「刻む会」とBIYPの共催で開催
 参加者 31名 (オンライン6名含む)



11月6日(日) 14:00~ 阿知須図書館
 BIYP ムンノリクラブが開催
 参加者約 10名



11月8日(火) 現地フィールドワーク
 追悼ひろばと海岸
 を訪問され、海岸
 ではお酒を撒きな
 がら祈りを捧げら
 れました。



ソンプジャさんのお話しを聞いて感じたこと！
 BIYP 沖田美穂
 プジャさんの子供時代のイジメを聞いて、胸が痛くなりました。
 子ども達に罪はなく、親の教えや世間の風潮が起きたものだと思います。
 プジャさんのお言葉のように、社会の悪を見抜いて、差別と偏見を正す！
 一人一人の違いを尊重し尊敬する！
 肝に銘じます。

今後の予定

한국 중학생과의 교류! 日本中学生との交流!
「韓国の中学生との交流」
 한국 중학생과의 교류! 日本中学生との交流!
キミも来ないか?

韓国の中・高校生と交流する20名(10名)の募集です。
 韓国・プチョン市にある富川青少年交流センターの国際交流プログラムで、2023年1月16日(日)~17日(月)にプチョン市にある富川青少年交流センターで実施します。

募集する日本の中学生 約10名 <全日程参加>
 1/16(日) 午前 集合 午後 山口県立萩高等学校
 1/17(月) 午前 富川青少年交流センター 午後 富川青少年交流センター

日本中学生と交流する2/4(土)午前 富川青少年交流センター 午後 富川青少年交流センター
 2/5(日)午前/グループで韓国訪問 午後 富川青少年交流センター

ホームステイも募集 2月4日(土)の宿泊です
 2/4(土) 富川青少年交流センター 午後 富川青少年交流センター 2/5(日) 富川青少年交流センター
 1~10名(富川青少年交流センター) 2023.1.10まで

ボランティアも募集 交通や生活のサポートなど
 富川青少年交流センター 2023.1.10まで

申込・問い合わせ
 TEL 090-7992-6634 / くるまん
 メール ikkikuma@c-able.ne.jp
 富川青少年交流センター(プチョン)青少年交流計画
 2022.11.2

2023年2月4日(土)~5日(日)
 日韓の子ども達の交流プログラムの中で、長生炭鉱の追悼集会に参加します！
 現在、ホームステイを受け入れてくださるご家庭、交流のお手伝いをしてくださるボランティア募集中！

【お問い合わせ】
 TEL 090-7992-6634
 Mail ikkikuma@c-able.ne.jp



朝鮮学校の幼稚園児も「仲間入り」！

今年の1月に下関市に引っ越し、子どもが山口朝鮮初中級学校附属幼稚園に入園しました。それから、朝鮮学校を支援する山口県ネットワークが毎月行う、補助金再開を求める県庁前行動に参加しています。子どもに「何をしに行くの？」と聞かれた時、私はとっさに「仲間に入れて、と伝えに行くんだよ」と言いましたが、そう答えた後にその言葉を噛みしめました。まさにその通りだよな、と。



以前住んでいた大分県には、朝鮮学校がなかったため、子どもは私立幼稚園に通いました。そこでは私の子どもも幼保無償化の対象でした。朝鮮学校附属幼稚園に転園してからは、その制度から除外され、改めてそ理不尽さを噛み締めました。以前よりも家計への負担が大きくなったことを実感しつつも、日本学校出身の私に習いたての朝鮮語を教えてくれる子どもの姿はとても輝いて見え、民族教育の素晴らしさと、認められない悔しさを噛み締める毎日でした。

その中で、無償化から除外された施設を対象にした新たな支援策に、ついに下関市も「手上げ」をしたとのニュースが今年の夏に飛び込んできました！下関はずっと「手上げ」をしていませんでしたが、諦めずに働きかけてくれた皆さんのおかげで実現したと聞きました。そして、書類選考も無事終え、11月について保護者の元に入金がありました。国庫から朝鮮学校生徒への支援がされたのは山口の朝鮮学校の歴史上初めてだと校長から聞きました。その翌週、県庁前行動の後、皆さんでヤクルトサイズの乳飲料で乾杯しました。この新たな支援策と市の「手上げ」は、幼保無償化対象から除外されると分かってから山口県ネットワークの皆さんが全国的に連帯して署名活動をするなどの尽力で実現したものであり、「勝ち取った」ものです。皆さんと共に勝ち取った喜びを分かち合えたこと、感無量でした。そして、その翌日の金剛山歌劇団公演の際、子どもに皆さんのことを「仲間に入れてくれた人だよ」と紹介しました。「園児」から「児童」「生徒」になっても仲間入りできるように、まずは補助金再開に向けて、次はヤクルトをマッコリに変えて、その日に向かって、これからも共に頑張りましょう！

(保護者 徐麻弥)

NPO 法人化に向けて

現在、「刻む会」はNPO法人化を目指しています。

2022年11月8日(火) 10:30~12:00 県民活動支援センターと市民活動支援センターの方々3名をお迎えして、NPO法人についての学習会を開催しました。NPO法人になったら何がかわるのか、そのためには何をしなければならぬのかなど、私たちの質問に答える形で丁寧に説明していただきました。

NPO法人化するという事は、会社の設立を行うのと同じことだということが分かりました。NPO法人化する手続きの中には「定款」提出があるのですが、「定款」というのは現在の「規約」をNPO法人向けに書き直したものです。「定款」の中には必ず「理事」3人以上と「監事」1名が必要です。このように、今の「規約」からどのように「定款」に変更していくのかを始め、様々な作業が必要になることを理解しました。

まずは、何故NPO法人化するのかという目的をきちんと共有し、丁寧に作業をしていくことが必要です。会員の皆様の中で、詳しい方がおられましたら、ぜひご協力をお願いします。

《同封物》
振替用紙
追悼集会チラシ

今後の予定

2022年12月20日(火) 10:30~13:00

第8回運営委員会(宇部市)

2023年2月4日(土)

81周年追悼集会(宇部市) ※詳細はチラシ参照

事務局より	
会員動静 (2022年11月18日現在)	
正会員	136名 (総会比+3名)
賛助会員	279名 (総会比±0名)
寄付者	113名 (総会比+1名)
計	528名 (総会比+4名)
会員・寄付者募集中! 知人・友人にぜひ一声お願いします!	